

第31回 ぴあフィルムフェスティバル

2009年7月17日[金]—31日[金] Special Program 8月1日[土]—5日[水]

東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール(京橋)

<http://pff.jp/>



コンペティション部門
PFFアワード2009
招待作品部門
イーストウッド!
大島渚講座

主催: PFFパートナーズ **ぴあ** **TBS** **IMAGICA** 共催: **NFC** 東京国立近代美術館フィルムセンター

後援: 経済産業省 / NPO法人 映像産業振興機構(VIPO) / 社団法人 日本映画製作者連盟
財団法人 日本映像国際振興協会 / 協同組合 日本映画監督協会 / 独立行政法人 国際交流基金

協賛: **maxell** / 財団法人 本庄国際リサーチパーク研究推進機構 / Koh Gen Do 協力: 早稲田大学 / **WAVE** **IBI-3FM**

企画協力: デジタルde「みんなのムービー」Project 特別協賛: **ヒューマントラストグループ** 助成: 芸術文化振興基金

第19回PFFスカラシップ作品 『川の底からこんにちは』

7月30日[木] 19:00-

PFFパートナーズ(びあ、TBS、TOKYO FM、IMAGICA、
エイベックス・エンタテインメント、USEN)提携作品
特別協賛:コダック株式会社 助成:文化芸術振興費補助金

1984年に始まった、
PFFの育成プログラム「PFFスカラシップ」。
コンペティション部門「PFFアワード」の
入賞者によるオリジナル1作品を、
PFFがトータルプロデュースする最新作です。

石井裕也

1983年生まれ。日本大学大学院芸術学研
究院映像芸術専攻修士課程修了。第29
回PFFアワードにて『剥き出しにっぽん』がグ
ランプリを受賞。海外では香港アジア・フィル
ム・アワード第1回「エドワード・ヤン記念」ア
ジア新人監督大賞を受賞。その後、第19回
PFFスカラシップ企画コンペにて権利を獲得。



監督・脚本:石井裕也
出演:満島ひかり、遠藤 雅、相原綺羅、志賀廣太郎、岩松了
2009年/35ミリ/114分(予定)/カラー

上京5年目、5つ目の職場で、5人目の彼氏、健一とその
連れ子、加代子と悶々とした日々を送る佐和子。ジミ加
工会社を営んでいる父、忠男が病に倒れたとの連絡を
受け、仕事を辞め、実家に戻る決心をした佐和子だ
が…。佐和子を演じるのは『愛のむきだし』で強い印象を
残した満島ひかり。彼女を中心に、さまざまな年代の登場
人物たちが自分勝手にわがままに、しかし一所懸命に生
き抜く姿を活写する、人間味溢れる群像劇が誕生した。

Admission 入場料一覧

全席指定制 定員310名

コンペティション部門

「PFFアワード2009」専用チケット

Pコード | 555-294

発売中

お得で安心な前売券のご購入をおすすめします。

前売券は電子チケットびあでの発売です。
フィルムセンター窓口での販売はございません。

前売券 1,000円

当日券 一般1,200円 大高生・シニア(65歳以上)1,100円
小・中学生800円 障害者・障害者付添者500円



pia.jp/t
0570-02-9999

PFFアワード2009表彰式&
グランプリ上映チケット

Pコード | 555-295

発売中

第19回PFFスカラシップ作品
『川の底からこんにちは』

Pコード | 555-296

発売中

前売券 1,000円

当日券 一般1,200円 大高生・シニア(65歳以上)1,100円
小・中学生800円 障害者・障害者付添者500円

前売券 1,300円

当日券 一般1,500円 大高生・シニア(65歳以上)1,400円
小・中学生1,100円 障害者・障害者付添者500円

招待作品部門

イーストウッド! ~映画監督クリント・イーストウッド誕生~

Pコード | 555-362

6月23日[火]発売開始

招待作品部門

大島渚講座

Pコード | 555-363

6月23日[火]発売開始

※7/30[木]講師:是枝裕和監督の
回のみ特別講座です。右ページを
ご覧ください。

前売券 1,300円

当日券 一般1,500円 大高生・シニア(65歳以上)1,400円
小・中学生1,100円 障害者・障害者付添者500円

前売券 1,300円

当日券 一般1,500円 大高生・シニア(65歳以上)1,400円
小・中学生1,100円 障害者・障害者付添者500円

[前売券の購入方法]

- ◎お近くのチケットびあのお店(店舗の検索はこちら <http://pia.jp/shoplist/>)
- ◎ファミリーマート、サークルKサンクスで直接購入
- ◎@電子チケットびあにて購入(<http://t.pia.jp/cinema/cinema.html>)
- ◎チケットびあにて電話予約後、びあのお店、ファミリーマート、
サークルKサンクスでお引き換え
チケットびあ音声認識予約: 0570-02-9999

[当日券について]

- ◎当日券は、各回一名に付き一枚販売いたします。
- ◎開映後の当日券の販売はいたしません。
(前売券をお持ちの方に限り途中入場可)
- ◎当日券(当日、当該枠のみ有効)は受付にて各回上映30分前~開映
時刻まで販売。ただし、前売券が売り切れた場合、当日券はありません。
- ◎当日券の有無は、各上映の前日にフィルムセンターのホームページ
(<http://www.momat.go.jp/>)で確認することができます。

[プレリザーブについて]

(イーストウッド! ~映画監督クリント・イーストウッド誕生~)
(大島渚講座)のチケットはプレリザーブが可能です。
受付開始は6月18日[木] 11:00。終了は6月21日[日] 11:00。
詳しくは電子チケットびあホームページをご参照ください。
<http://t.pia.jp/cinema/cinema.html>

[指定席について]

全席指定です。「前方」「中央」「後方」からお選びいただけますが、
ご希望に添えない場合があります。

- 前売券は一般のみ。●前売券の電話予約は各上映日の5日前まで、
直接購入は各上映日の2日前までとなります。●前売券の払い戻し、交
換、再発券はいたしません。●学生、シニア(65歳以上)、障害者の方
は証明できるものをご提示下さい。●障害者付き添いは原則1名まで
500円でご入場いただけます。

イーストウッド! ~映画監督クリン

不遇の大部屋俳優からテレビスターへ。そしてマカロニ・ウエスタンで異国の地で初の映画主演。その遅咲きで異色のキャリアを、監督デビューへの地道な技術習得へと結びつけたイーストウッドの軌跡を特集。1997年から続く特別企画「巨匠たちのファーストステップ」第5弾ともいえる。70年代以降に生まれたイーストウッド

7月25日[土] 11:00-



日本
未公開
初出演

『半魚人の逆襲』

監督: ジャック・アーノルド / 1955年
82分 / 白黒 / DVD上映 / 日本語字幕付
研究助手ジェニングス役でわずかな出演。

そして名匠へ

7月21日[火] 19:00-

8月5日[水] 16:00-



製作
監督
主演

『許されざる者』

1992年 / 131分 / カラー
日本語字幕付
最後の西部劇。本作で初めてアカデミー賞を受賞。セルジオ・レオーネとドン・シーゲルに捧げられている。

7月25日[土] 13:30-
8月1日[土] 13:15-



主演

『夕陽のガンマン』

監督: セルジオ・レオーネ / 1965年
132分 / カラー / 日本語字幕投影
無口な早撃ちヒーローの造形で爆発の人気を獲得。

8月4日[火] 13:00-



製作
監督
主演

『マディソン郡の橋』

1995年 / 135分 / カラー
日本語字幕付
世界的なベストセラーロマンス小説の映画化に世界が驚く。中年の恋を切なく演じ涙もみせる。

7月28日[火] 12:30-
8月1日[土] 16:15-



主演

『続・夕陽のガンマン / 地獄の決斗』

監督: セルジオ・レオーネ / 1966年
180分 / カラー / 日本語字幕投影
南北戦争が舞台の本格西部劇大作。3人の賞金稼ぎが絶妙に絡む。

7月21日[火] 15:30-



製作
監督

『真夜中のサバナ』

1997年 / 155分 / カラー
日本語字幕付
『愛のそよ風』『バード』に続く監督専任第3作は、不思議な街を舞台に描く初の群像劇であり法廷劇。

7月28日[火] 16:30-
8月2日[日] 11:00-



主演

『マンハッタン無宿』

監督: ドン・シーゲル / 1968年
94分 / カラー / 日本語字幕投影
カウボーイNYに現る! スタントなしのオートバイアクションが話題に。

7月26日[日] 17:00-



製作
監督
主演

『トゥルー・クライム』

1999年 / 127分 / カラー
日本語字幕付
「冤罪」と「死刑」というタイムリーな話題のサスペンス。女好きのジャーナリストを軽快に演じる。

追加上映作品決定『リオンダラー・ベイビー』(2004年 / 132分 / カラー) 7月22日[水] 12:00-

大島渚講座

1960~70年代、日本のみならず世界の映画人は、皆オオシマを意識しながら映画をつくっていた。そのオリジナルな力に迫らんと、第一線で活躍する映画監督が「講義+作品上映」で大島渚映画を解析する、映画を志す者たち必見の4プログラム。

Nagisa Oshima

1932年京都府出身。59年、『愛と希望の街(原題:鳩を売る少年)』で監督デビュー。『絞死刑』(68年)、『少年』(69年)、『儀式』(71年)など政治的考察を力強く投影した異色作を連発。国際的な注目を浴びる。代表作に『愛のコリーダ』(76年)、『戦場のメリークリスマス』(83年)、『御法度』(99年)など。

7月22日[水] 15:00-

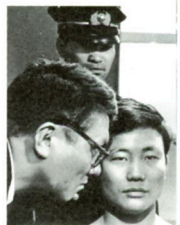


講師
黒沢 清

上映作品『日本春歌考』

1967年 / 103分 / 出演: 荒木一郎、伊丹一三、小山明子、吉田日出子
この歌合戦映画は、まさに歌の戦争映画である。私たちが何げなく口ずさむ歌が、時代性、政治性を持つことを告げる傑作であり、その撮影は奇跡的で、あまりにも多くの影響をその後世界に与えている。それらを解明していく講座。

7月22日[水] 1



上映作品『絞死刑』

1968年 / 117分 / 出演: 石堂淑朗、足立正生、戸田あや子
ATG初の一千万円は、大島渚率いる倉本保夫が苛烈な演技で、演劇的な舞臺同志である個性的な得た魚のように動きについての講座。

・イーストウッド誕生～

Clint Eastwood

1930年5月31日サンフランシスコ生まれ、兵役中に映画の仕事に興味を持ち、54年ユニヴァーサルスタジオのスクリーンテストに合格。2年で7本の映画に出演後、契約解除に。アルバムをしながらRKO映画やテレビの出演を続け、58年、テレビシリーズ「ローハイド」の準主役ロイ役に抜擢され人気を不動のものに。64年、主演したイタリア+スペイン+西ドイツ合作の西部劇「荒野の用心棒」がヨーロッパで大ヒット。暫くイタリアでの主演を続ける。67年、製作会社「マルハン」設立。以後、映画を中心に活躍し、71年「ダーティハリー」でNo.1マネーメイキングスターとなる。現在までに53本の主演や監督作をヒットさせてきた稀有な巨匠。最新作は監督・主演作「グラン・トリノ」。

体験者に捧げたい。

7月28日[火] 19:00-
8月1日[土] 10:30-



主演

『白い肌の異常な夜』

監督:ドン・シーゲル / 1971年 / 105分 / カラー / 日本語字幕投影
異様な設定の中、女たちに弄ばれる男の役に挑戦。初監督短編『The Beguiled: The Storyteller』(12分)を同時上映。

7月29日[水] 13:00-
8月2日[日] 13:30-



長編
初監督 監督
主演

『恐怖のメロディ』

1971年 / 102分 / カラー / 日本語字幕投影
一夜の遊びが思わぬ結果となるサスペンス。現在に繋がる省略の技が光る。

7月29日[水] 16:00-
8月4日[火] 19:00-



監督
主演

『荒野のストレンジャー』

1973年 / 105分 / カラー / 日本語字幕投影
西部劇初監督作品。流れ者が街を真つ赤に塗りこめる。いずこともなく来て去っていく孤独な男の造形が定着。

7月29日[水] 19:00-
8月2日[日] 16:30-



日本
未公開 監督

『愛のそよ風』

1973年 / 105分 / カラー / 日本語字幕投影
初めて監督のみに専念した低予算映画。年の離れたカップルの出会いを描きファンを驚かせる。

8月5日[水] 19:00-

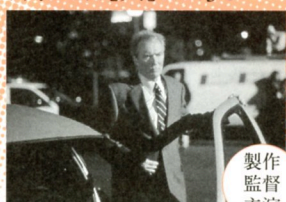


製作
監督
主演

『スペース カウボーイ』

2000年 / 130分 / カラー / 日本語字幕付
夢を断たれた“チーム・ダイダロス”は40年後に思わぬチャンスに遭遇する。驚きの宇宙冒険映画。

7月21日[火] 12:30-



製作
監督
主演

『ブラッド・ワーク』

2002年 / 110分 / カラー / 日本語字幕付
マイクル・コナリー『わが心臓の痛み』を映画化。障害を持つ元FBI捜査官が連続殺人犯を追う。

8月4日[火] 16:00-



製作
監督
音楽

『ミスティック・リバー』

2003年 / 138分 / カラー / 日本語字幕付
4作目の監督専任作品は、名優たちが濃厚な時間を織り成す、現代のシェイクスピア悲劇になった。

8月5日[水] 13:00-



製作
監督
音楽

『父親たちの星条旗』

2006年 / 132分 / カラー / 日本語字幕付
戦争で狂わされた若者の人生を、硫黄島での国旗掲揚写真に写る6人を通して活写する。

3:15-



講師
黒沢 清

7月25日[土] 16:30-



講師
若松孝二

上映作品『愛のコリーダ』

1976年 / 104分 / 出演: 藤 竜也、松田咲子、中島 葵、芹 明香、阿部マリ子、三星東美、たとえ観ていなくても、知らない人はいないこのタイトル。この大島初のフランス合作で世界的ヒット作はどう創られたのか、プロデューサーに指名された若松孝二にととの困難と発見は何だったのか、などを知る講座。

特別講座

7月30日[木] 15:00-



ドキュメンタリー演出中の大島渚監督

講師
是枝裕和

『大島渚とテレビドキュメンタリー』

テレビドキュメンタリー制作における大島渚の偉業を、同じく異なるメディアに意識的な作家、是枝裕和が紹介する講座。

※この回は入場無料です。入場ご希望の方は7月17日(金)15:30より7月30日(木)の開演前まで会場にて入場券をお一人様一枚に限り、配布いたします。なお、定員になり次第、締め切らせていただきます。

若松孝二

1936年宮城県出身。63年『甘い罠』で監督デビュー、「ピンク映画の巨匠」と評される。『愛のコリーダ』にプロデューサーで参加。最新作『実録・連合赤軍 あさま山荘への道程』(07年)。

黒沢 清

1955年兵庫県出身。立教大学在学中より映画を撮り始め、83年に『神田川淫乱戦争』で商業映画デビュー。代表作に『CURE キュア』(97年)、『トウキョウワタ』(08年)など。

是枝裕和

1962年東京都出身。ドキュメンタリー番組の演出を経て、『幻の光』(95年)で劇映画監督デビュー。代表作『誰も知らない』(04年)など。最新作『空気人形』が今秋公開。

協力:川喜多記念映画文化財団 キングレコード 松竹株式会社 ワナー・ブラザーズ映画

協力:大島渚プロダクション

PFF Award 2009 コンペティション部門「PFFアワード2009」

今年で31回目を迎える、世界最大の自主映画コンペティション、PFFアワード。
フィルムセンターとの共催という新たな幕を開ける今年、応募総数569本の中から注目の16作品が入選しました。
例年にも増して現代の若者達の「ホントのところ」が浮き彫りになった作品は、
観る者を圧倒し、飲み込んでいく勢いが感じられます。

※監督の年齢は応募時のものです

A 7月18日[土] 10:30- / 23日[木] 18:30-

『ソレダケ』

監督: 岩永 洋(22歳) 26分 / カラー

夏の休日。寝ても寝ても寝たりない。そんな年頃の少女の、かすかに発熱した体温までも映し撮りつつ、ふとしたことで「気づき」を得る彼女の成長を感涙のドラマに仕立てる。母親世代も必見の思春期映画。



『私の叙情的な時代』

監督: 任 書剣(33歳) 99分 / カラー

超シビアで現実主義者の中国人留学生、趙明。物腰柔らかく、つねにクールな彼が、あいまいな国・日本で出会う、さまざまな人生と、お金のこと、お金でどうにもならないこと。東アジアの縮図がここに。



B 7月18日[土] 13:45- / 24日[金] 15:45-

『青春墓場～問答無用～』

監督: 奥田庸介(22歳) 29分 / カラー

口から出まかせが得意のチンピラ物語が転調、「出刃はどこだあ!」ブチ切れた男たちの生々しい肉体活劇は、観客の魂を震えさせる。変態野郎の怪演。ド派手なショック描写。昭和B級の世界は、真っ赤な血に染まる。



『ぴゅーりたん』

監督: 佐々木 想(30歳) 91分 / カラー

さえない廃品回収業務の毎日を送っていた青年が、ある日知ったささやかな恋。その一途な心がついに弾けるクライマックスに、確かなドラマ演出力の軌跡が浮かび上がる! 脇の脇まで巧演者をそろえた充実の長編作品。



C 7月19日[日] 14:00- / 24日[金] 12:30-

『大拳銃』

監督: 大畑 創(29歳) 31分 / カラー

経営が危うくなった町工場の兄弟に、拳銃密造の依頼がくる。「客」の厳しい注文に応えるべ! 没頭するうち、次第に異様な熱気が充満。安易な共感とは手を切り、血潮とアブラ汗で観客を覚醒させるクライム・アクション!



『夢の島』

監督: 葛 哲一朗(24歳) 83分 / モノクロ

ベテランと新米の刑事がバディとなって、爆破事件を計画する屈折した心理の犯人を追跡する。60~70年代風刑事ドラマを、実験映画で多用される自家現像の手法により、レトロ的な質感で描き出したこだわりの大作。



D 7月19日[日] 11:00- / 23日[木] 15:30-

『かたすみで、ヤッホウ』

監督: 松村真吾(27歳) 40分 / カラー

ストレスに苛まされながら、今日も面接へと旅立つ就活娘はきつとあなた自身、私自身。懸命に生きる彼女に、いつしか観客は声援を送っている。悲喜こもごも日常描写の中に可憐に輝く等身大の現代女性ポートレート。



『一秒の温度』

監督: 井上真行(27歳) 75分 / カラー

小説家になるビッグな夢をもつノボルはがむしゃらに猪突猛進するもカラ回り。ある日、自分がいかにビビりてっぺんかを突きつけられ、迷走ぶりはさらに加速。自己愛過多な青年のじらしいブルース。



E 7月18日[土] 17:00- / 23日[木] 12:30-

『Souda Kyouto He Ikou』

監督: 加納 隼(22歳) 40分 / カラー

東京から京都を目指す自転車野郎3人。死の危険にさらされながらも笑いがたえない珍道中は、編集の妙味が冴え渡り、気のおけない仲間との旅の楽しさを観客にも共有してくれる。東海道中膝栗毛ママチャリ版。



『恋愛革命』

監督: 武田真悟(22歳) 63分 / カラー

写真家志望の青年は別れを切り出した恋人を執拗につけ回し始める。愛情というより独占欲に由来するスーカー行為の恐怖をスリングに描き、賛否両論まっぶたつ覚悟で「恋愛の不可思議」を大胆に提示!



F 7月19日[日] 17:00- / 24日[金] 19:00-

『シュナイダー』

監督: 頃安祐良(23歳) 44分 / カラー

かつて被害を受けた男が、客となって加害者が働く小さな飲食店を訪れ、理不尽な報復を開始する。被害者の怒りが爆発し、いつしか加害者になってしまふ、不条理な状況が生む衝撃のラストを目撃せよ!



『chain』

監督: 加治屋彰人(23歳) 55分 / カラー

リストラや援交といった言葉が耳を素通りするとき、とくに壊れてしまった社会の中で自分の感覚が麻痺していることに気づく。極小半徑で繋がれた絶望の淵を踏み越えていく覚悟と、信じるに足る世界を探したくなる力作。



G 7月17日[金] 16:00- / 26日[日] 14:00-

『VISTA』

監督: 佐々木靖之(28歳) 46分 / カラー

現実と幻影の間に迷い込み、自己の存在さえも曖昧になってしまう体験。デジャヴ? いやその光景にノスタルジーさえ覚える。視ること、他者との関係は、真実か——。掴めない世界を映像で表現しようと試みる意欲作。



『彼女のファンタジー』

監督: 中嶋祐介(28歳) 63分 / カラー

ある日を境に自分の殻に引きこもってしまった青年。ひたすら彼に寄り添う妻。極限状態に追い詰められた2人の心象風景を表す美術装置や精巧な照明が見事にドラマの中に融合して、非凡な迫力みなぎらせる。



H 7月17日[金] 19:00- / 26日[日] 11:00-

『普通の恋』

監督: 木村承子(22歳) 45分 / カラー

強姦未遂受験生を飼育監禁する少女。下着すら脱がせられぬウブな想いが、その花弁から愛液ならぬ愛の砂をこぼれさせる! 新感覚の「砂の女」なのか!? 特異な美術&衣裳感覚で他の追随を許さぬローリータ・エロス!



『霧の中』

監督: 飯塚 諒(23歳) 61分 / カラー

明け方、青年は部屋を抜け出し、走る。腐った大人たちの残像を振り払うために。堅実な未来を切望しながらも、その努力を母親に根こそぎ破壊されてしまう高校生の心情を立体的に浮かび上がらせる。圧倒的な描写力が秀逸。



表彰式+グランプリ作品上映 7月31日[金] 16:30-

◎PFFアワード各賞 グランプリ(賞金100万円)/準グランプリ(賞金20万円)

審査員特別賞(3作品・賞金各10万円)

◎PFFパートナーズ各賞 TBS賞/IMAGICA賞/観客賞

Time Table タイムテーブル

※やむを得ない事情により、プログラムおよび来場ゲストが変更になる場合がございます。
 ※全プログラムとも、録音・録音機器、及びPCの会場への持ち込みは禁じられています。
 ※最新の詳しい情報はPFF公式ホームページにて <http://pff.jp/>

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
7.17 [金]							16:00 PFFアワードG 「VISTA」 「彼女のファンタジー」			19:00 PFFアワードH 「普通の恋」 「霧の中」	
7.18 [土]	10:30 PFFアワードA 「ソレダケ」 「私の叙情的な時代」			13:45 PFFアワードB 「青春墓場～問答無用～」 「びゅーたん」				17:00 PFFアワードE 「Souda Kyouto He Ikou」 「恋愛革命」			
7.19 [日]	11:00 PFFアワードD 「かたすみで、ヤッホウ」 「一秒の温度」			14:00 PFFアワードC 「大拳銃」 「夢の島」				17:00 PFFアワードF 「シュナイダー」 「chain」			
7.20 [月]	休 館										
7.21 [火]			12:30 イーストウッド! 「ブラッド・ワーク」				15:30 イーストウッド! 「真夜中のサバナ」			19:00 イーストウッド! 「許されざる者」	
7.22 [水]		追加上映 12:00 イーストウッド! 「ミリオンダラー・ベイビー」				15:00 大島渚講座 講師: 黒沢清監督 「日本春歌考」			18:15 大島渚講座 講師: 黒沢清監督 「絞死刑」		
7.23 [木]				12:30 PFFアワードE 「Souda Kyouto He Ikou」 「恋愛革命」			15:30 PFFアワードD 「かたすみで、ヤッホウ」 「一秒の温度」		18:30 PFFアワードA 「ソレダケ」 「私の叙情的な時代」		
7.24 [金]			12:30 PFFアワードC 「大拳銃」 「夢の島」				15:45 PFFアワードB 「青春墓場～問答無用～」 「びゅーたん」			19:00 PFFアワードF 「シュナイダー」 「chain」	
7.25 [土]	11:00 イーストウッド! 「半魚人の逆襲」			13:30 イーストウッド! 「夕陽のガンマン」			16:30 大島渚講座 講師: 若松孝二監督 「愛のコリーダ」				
7.26 [日]	11:00 PFFアワードH 「普通の恋」 「霧の中」			14:00 PFFアワードG 「VISTA」 「彼女のファンタジー」			17:00 イーストウッド! 「トゥルー・クライム」				
7.27 [月]	休 館										
7.28 [火]			12:30 イーストウッド! 「続・夕陽のガンマン／地獄の決斗」				16:30 イーストウッド! 「マンハッタン無宿」			19:00 イーストウッド! 「The Beguiled: The Storyteller」 「白い肌の異常な夜」	
7.29 [水]			13:00 イーストウッド! 「恐怖のメロディ」				16:00 イーストウッド! 「荒野のストレンジャー」			19:00 イーストウッド! 「愛のそよ風」	
7.30 [木]	[お問合わせ] PFF事務局 TEL: 03-3265-1425 (平日 10:00～18:00)					15:00 大島渚講座 特別講座 講師: 是枝裕和監督 ※詳細は中面をご覧ください				19:00 第19回PFFスカラシップ 「川の底からこんにちは」	
7.31 [金]							16:30 PFFアワード2009 表彰式 グランプリ作品上映				
8.1 [土]	10:30 イーストウッド! 「The Beguiled: The Storyteller」 「白い肌の異常な夜」			13:15 イーストウッド! 「夕陽のガンマン」			16:15 イーストウッド! 「続・夕陽のガンマン／地獄の決斗」				
8.2 [日]	11:00 イーストウッド! 「マンハッタン無宿」			13:30 イーストウッド! 「恐怖のメロディ」			16:30 イーストウッド! 「愛のそよ風」				
8.3 [月]	休 館										
8.4 [火]			13:00 イーストウッド! 「マディソン郡の橋」				16:00 イーストウッド! 「ミスティック・リバー」			19:00 イーストウッド! 「荒野のストレンジャー」	
8.5 [水]			13:00 イーストウッド! 「父親たちの星条旗」				16:00 イーストウッド! 「許されざる者」			19:00 イーストウッド! 「スペース カウボーイ」	

日本インディペンデント映画史シリーズ②

ぴあフィルムフェスティバルの軌跡vol.2

フィルムセンター・小ホールにて、6月30日[火]～7月24日[金]開催!!

昨年、ぴあフィルムセンターの初の共催で実現した「ぴあフィルムフェスティバルの軌跡vol.1」。第2弾の今年は、1987年～1997年の10年間に注目し、歴代のアワード入選作を一挙上映。現在日本映画界で大活躍中の監督たちが、若かりし頃に撮った作品が並びます。今年度のPFFアワードをご覧になる前に、これまでの歴史を振り返ってみる絶好のチャンスです!

[主な上映作品] _____

- 『夕顔の秘密』 監督: 橋口亮輔
- 『灼熱のドッジボール』 監督: 古厩智之
- 『RUNNING HIGH』 監督: 篠原哲雄
- 『五月雨厨房』 監督: 中村義洋
- 『雨女』 監督: 矢口史靖
- 『鬼畜大宴会』 監督: 熊切和嘉

会場へのアクセス [住所] 中央区京橋3-7-6



- ◎ 東京メトロ銀座線「京橋駅」1出口から昭和通り方向へ徒歩1分
- ◎ 都営地下鉄浅草線「宝町駅」A4出口から中央通り方向へ徒歩1分
- ◎ 東京メトロ有楽町線「銀座一丁目」7出口から徒歩5分
- ◎ JR「東京駅」八重洲南口から徒歩10分